

一人親に寄り添いたい

「Kanadee」(さいたま市中央区)

交通事故で夫を亡くしたシングルマザーが立ち上げた「Kanadee」(カナデー) (さいたま市中央区) は、バッグが抱っこひもに変わる多機能抱っこカバン「gyuttone」(ぎゅっとね) (きゅつとね) の一般販売を開始した。代表の大門みづきさん(40) は「さまざまな事情を抱えながら子育てをする一人親に、商品を通して寄り添いたい」と話す。(山田浩美)

■何役もこなす多機能性 しも与えたい」と吐露する。子どもの成長とともに進化

申請中の同商品は、何役もこなす多機能性が特徴だ。トートバッグ両脇のファスナーを開けて平らにした布を内蔵のベルトで腰に装着し、子どものお尻と背中を支えるようにするんで、もう片方のベルトをたすき掛けにすると抱っこひもになる。首と腰のすわった1歳前後、約30分まで使用可能。新生児、10カ月前後までは、おむつ替えシー

トや簡易敷布団にもなる。「一人親は荷物が多い。この商品で負担を和らげたいし、これを作ったのはあなたと同じ境遇なんだという励まし

しかし、一周忌法要で霊園の噴水に落ち、ずぶ濡れになった息子の姿を見て、われに帰った。「夫が亡くなった時はつかまり立ちだったのに、こんなにやんちゃに走り回っ

きもつた。当時10カ月の奏一朗ちゃんにどう食事させていたか、息子がいつごろ立ち始めたのか、ほとんど記憶にない。



●多機能抱っこカバン「gyuttone」(ぎゅっとね)を手にする大門みづき代表。折り畳むと20センチ四方、マチ10センチのコンパクトサイズになる(右) ●カバンを広げて抱っこひもにして使った状態。抱っこされるのは息子の奏一朗ちゃん(4)。(大門代表提供)

多機能抱っこカバン発売

「このままじゃいけない」。このままじゃいけない。少しずつ外に出て、フリーでデザインの仕事始めた。一人で重い荷物を抱え、汗だくで息子を抱っこ。それでも、「しんどいのは自分だけじゃない。荷物の多いシングルマザーに寄り添える育児グッズを作りたい」。普段の携帯品で抱っこひもを兼用できないかと思索。目に留ったエコバッグを解体し、試作品作りを開始した。

■原点を貫く

経営支援のアドバイザーから助言を受け、15年末から起業の準備を始めた。昨春秋ごろからは製造にも本格着手。スポーツ用品製造のイイツカ(東京都台東区)の柏木定雄取締役部長(64)は「抱っこカバンの製造は初めて」と

依頼に驚いたが、「会社も資本もない彼女の熱意に動かされた」。会議を重ね、大門さんの思いと老舗企業の技術が凝縮した「絶対の自信がある」(柏木部長)商品が完成した。「困難に寄り添った商品作り」という原点を貫きたい」とい

う大門さんは、障児用抱っこカバンや介護現場で使える抱っこひもも製作したいと考えた。大門さんは力強く前を向く。「これが望んだ人生ではない。でも、夫の死の代わり

に得たものであるなら、意地でも成功させたい」。商品は2万1384円(税込)。1年保証付き。10月10日まで送料無料。注文・問い合わせはホームページ(kanadesince2015.com)で。

遠出を避けて買物をする方、気温が低すぎない2種類の百貨店は、すべて全店へ

といった具合です。子どもたちと犬を合わせ使ったことが求められます。この手順の習得には繰り返しの訓練が必要で、筆者はこれが一

経済コラム

研究者の眼

埼玉大学・人文社会科学研究所

■技能を重視

人になつてから算数を見る

心算 下 佳致受

てあります。要約すると、①桁をそろえて2つの数字を書き、下に線を引く②1の位の足し算を行なう③結果の1の位を線の下に

世界最高
「東京」
21日、千
した。今
どで飯糰
しめる。今
中国向け

「東京」
「東京」
「東京」
「東京」

8月

長雨、冷害
風、スパー
月の全国冠
店ベースは
0%増、全
(同)は0
を中心とし
暗が分かれ
協会と日本
協会が21日
た。

遠出を避
買物をする
方、気温が
低すぎない
2種類の
百貨店は、
すべて全店